

# 日本政治学会 会報

## The JPSSA News

No. 30

D E C . 1995

### 世界政治学の潮流について

理事 猪 口 孝

現在（1995年4月から）国連大学上級副学長として、100余りの研究プロジェクト、50以上の研修プログラムを抱えているが、このような学術研究の計画実行のすべてを主要な責任としている。国連の階級でいうと事務次長補で責任は学長のそれとまったく重複するので人事、労使関係、財政などもすべて責任としている。編集者の注文は世界政治学の潮流についてである。ちょうど国連大学では主要な知的潮流を6年ごとにサーベイ、評価する研究会議を計画している。20世紀最後、冷戦後のこの重要な時期に一体どのような知的潮流がみられるかを世界一流学者25名ほどを糾合し、一卷の書物にまとめようとするものである。その計画課程で考えたことの一部を披露することによって責を埋めたいと思う。

世界の知的潮流の大きな流れは、まず政治では自由民主主義の原理で議会に政治代表を送ること、経済では経済政策を積極的に経済運営に使うこと、社会では自由な自発的な結社によって一定の安定性と目的合理性からみて必要な機能を果たすことである。

第一の考えに強い疑念を挟ませる兆候は少ない。民主主義が地球をほとんど覆うに従い、民

主主義を中身から考える傾向から手続きとしての民主主義を考える傾向が強まっている。有権者が拡大するにつれ、全国的なレベルでの民主主義の機能とりわけ選挙、投票、議会代表による政治の運営の正統性と実効性には時折強い疑念が表明されている。

第二に、ケインズ主義と呼ばれる考えの基礎にある政府の果たす積極的な役割については時折疑念が挟まれている。米国では市場中心の考えが風靡し、欧州でも社会民主主義的な医療・福祉・年金プログラムなどについて着実な後退がみられ、日本でも脱規制への動きと福祉見直しの動きが進展した。

第三に、自由結社重視の思想は存続しているものの、核家族化、女性労働の一般化、技術水準のアンバランスな普及、そして経済活動の自由化と地球的展開などは、社会的信頼と社会的凝集を達成してきた表現結社の自由が十分に機能してこなくなったという認識が強まっている。

これらが網羅的な潮流とはならないが、このような潮流を一流学者に執筆討論してもらい、21世紀の潮流の方向を指し示したいと思う。

## 『1997年度 年報政治学』掲載論文公募について

1997年度年報委員長 五百旗頭 真

1997年度年報は、近年の編集方針を継承し、二つの特集テーマについて以下のように論文の公募を行います。

### 1) 1997年度特集テーマ

I. 危機の日本外交——1970年代国際変動への対応

II. 制度の政治学

- 2) 特集テーマⅠについては、従来と同様に年報委員会を中心に研究会を組織し、その成果をおよそ6本の論文として年報に掲載する。
- 3) 公募する論文数は、特集テーマⅠについては1または2、特集テーマⅡについては4または5である。
- 4) 特集テーマⅠについては、70年代日本外交に対する中国、ソ連、東南アジア要因を扱う論文を歓迎したい。
- 5) 特集テーマⅡについては、新制度論的な視点を踏まえた実証的分析に基づく論文を歓迎する。
- 6) 公募論文については、年報委員会の下に設置

される審査委員会で審査し、採否を決めることになる。応募は以下の要領による。

- ①1996年3月31日までに、同封の申込用紙を用いて応募登録をする。
- ②公募論文の提出期限は、1996年10月31日とする。
- ③論文は、400字詰原稿用紙で注・図表を含めて60枚以内。ワープロ・プリントの場合は、A4サイズで、1行30字、1頁40行の書式設定にすること。なお、コピーを3部提出すること。
- ④公募論文については、技術的問題を含めて、審査委員会から執筆者に手直しを求めることがある。
- ⑤応募申込用紙および提出論文の送り先：

〒657 神戸市灘区六甲台町  
神戸大学法学部  
五百旗頭真  
TEL. 078-803-0239  
FAX. 078-803-0260

## 1995年度第1回理事会記録

日時 1995年7月1日(土) 午後2時から3時35分まで

場所 東京学士会分館

1995年度第1回理事会では、理事長挨拶の後、以下の事項が報告・承認された。

### 1. 1995年度予算の件

最初に理事長から、1995年度予算を本理事会に再提出するに至った経緯が説明された。続いて、1995年度予算案の審議に入り、常務理事から予算案の内容が説明され、承認された。

### 2. 各委員会報告

#### (1) 企画委員会

1995年度企画委員会

加茂1995年度企画委員長から1995年度研究会プログラムにつき、前理事会に提出したプログラムに基本的に変更がないこと、開催校との打ち合わせを行ったこと、外国から研究者を招いて行うセッションについては、研究会初日にペーパーを配布して2日目に実施する予定であることが報告され、了承された。

また、開催校(法政大学)の鈴木理事に代わって出席した武藤博巳会員(法政大学)から、開催校としての準備状況について説明があり、研究会を具体的にどの教室で行うのかの調整の問題が残されている以外には、概ね順調に準備が進んでいる旨の報告があった。6月27日に開催校を訪問し、打ち合わせを行った常務理事からも同趣旨の

発言があった。

## 1996年度企画委員長

蒲島1996年度企画委員長から、①魅力的な研究集会の実現、②発表論文の提出、③自由応募の奨励という1996年度の方針が説明され、あわせて下記の通り企画委員会メンバーが報告された。また、1996年度の総会・研究会開催校である北海道大学の施設につき詳細な報告があった。

## 1996年度企画委員

大河原伸夫 (九州大学)

加藤 淳子 (東京大学)

川人 貞史 (東北大学)

小林 良彰 (慶応義塾大学)

辻中 豊 (筑波大学)

中西 輝政 (京都大学)

馬場 康雄 (東京大学)

松浦 正孝 (北海道大学)

松本 礼二 (早稲田大学)

## (2) 年報委員会

### 1995年度年報委員会

西尾1995年度年報委員長から、公募論文の原稿締切を6月30日、年報委員会で準備している論文の締切を7月半ばとし、1995年度年報の編集作業を進めている旨の報告があった。

### 1996年度年報委員会

佐々木1996年度年報委員長の報告を西尾1995年度年報委員長が代読し、科学研究費を得て研究会を開始したこと、また1996年度年報における「民主政論の新展開」に対する公募の申し込みが現在まで9件あったことが報告された。

### 1997年度年報委員会

五百旗頭1997年度年報委員長から、本年10月の総会・研究会を目的に年報のテーマ、委員会メンバー等を決める予定であることが報告された。

## (3) 文献委員会

### 1995年度文献委員会

天川1995年度文献委員長から、委員会の作業が順調に進行しており、1995年度年報委員会とも打ち合わせの上、本年7月半ばを目途に原稿を完成する予定である旨の報告があった。

### 1996年度文献委員会

渡辺1996年度文献委員長から、10月理事会までに委員の選定を行いたいとの報告があった。

## (4) 選挙管理委員会

森協選挙管理委員長から、前理事会で報告した理事選挙スケジュールについて若干の変更を行っ

たこと、選挙は順調に行われ、6月30日で投票を締め切ったこと、開票は7月8日(土)開催の選挙管理委員会において行う予定であることが報告され、了承された。

## (5) 国際交流委員会

北岡国際交流委員長から本年度 ECPR 年次大会に出席した大嶽理事の報告が読み上げられ、全体テーマ「ヨーロッパと日本の政治変動」のなかで「政党再編と連立内閣」「自由化による政治経済体制の変容」「地域統合と地域協力」の3つの共同研究(それぞれ日本側3名、ヨーロッパ側4名程度)を行うこと、政治史・政治思想史の分野ではヨーロッパ側に対応する形での共同研究は今後の課題であること、などが報告された。

また、北岡委員長から、ECPR との上記交流を日本政治学会として承認したい旨の要望が出され、了承された。また、このプロジェクトを進めるため、会員派遣費用等の一部の援助を場合によりお願いしたい旨の要望が出された。また、法政大学における本年度研究集会に参加する外国からの研究者が、S. Wilks, J. Olsen を含む合計3名の予定であると報告された。さらに、佐々木理事の IPSA 執行委員会出席派遣費用を学会として支出してほしいとの要望が出された。

以上の報告を受けて、種々協議の結果、理事長から、ECPR との共同研究のための会員派遣費用(必要な場合のみ)と佐々木理事の IPSA 執行委員会出席派遣費用の双方について、それぞれ30万円から40万円を目途に予備費から支出する旨の提案があり、了承された。

## (6) 非欧米圏の政治学会との交流に関する委員会

渡辺委員長から、本日、専門委員である森山茂徳(獨協大学)、藤原帰一(東京大学)両会員の参加を得て委員会を開いたこと、結論を10月の理事会までには報告したいとの発言があった。

## 3. 新入会員承認の件

以下の17名の入会を承認した。

大宅由里子、渡辺幹雄、井上善友、小久保純一、小田川大典、川口博之、成田憲彦、森戸幸次、福元健太郎、城山英明、工藤裕子、石川恵美、畑仁小笛流(フェルドマン オフェル)、DAGFINN GATU、磯崎典世、大澤博明、志村尚子

## 4. 1995年度「日本政治学会会員名簿」の作成作

業が順調に進行しており、本年12月の会報発行と同時に会員に発送する予定である旨の報告があった。

## 5. 次回理事会の件

次回理事会を10月7日(土)に法政大学会議室で開催することが決定された。

## 1995年度第2回理事会記録

日時 1995年10月7日(土)午後12時から1時まで

場所 法政大学80年館7階会議室

1995年度第2回理事会では、理事長挨拶の後、以下の事項が報告・承認された。

### 1. 1995年度研究会の件

理事長から、1995年度の研究会がとどこおりなく開催されたことについて、開催校の法政大学ならびに企画委員会に対して、感謝の意が述べられた。

### 2. 次期理事候補選出の件

理事長から、7月に行われた理事選挙において19名の公選理事(辞退者1名を除く)が選出され、公選理事から成る理事選考委員会において推薦理事16名が選出されたこと、公選理事の互選によって理事長候補者推薦委員4名が選出され、現理事長を含む5名によって構成される理事長候補者推薦委員会において次期理事長候補の選考について審議が行われたことが報告された。

### 3. 各委員会報告

#### (1) 企画委員会

1995年度

加茂1995年度企画委員長から、当日午前の共通論題が盛会であったこと、開催校の配慮でペーパー販売とレジメ頒布がスムーズに行われたこと、翌日の国際交流セッション(Johan P. Olsen: Univ. of Oslo, Stephen Wilks: Univ. of Exeter, Kathleen Thelen: Northwestern Univ. の3氏が参加)についてもペーパーの印刷も含めて準備が整っていることが報告された。

1996年度

蒲島1996年度企画委員長から、企画の原則を、①分科会については公募を原則とすること、②報告者にはペーパーの提出を義務づけること、③研究会を実りあるものにする、と定めたことが

報告された。

#### (2) 年報委員会

1995年度

西尾1995年度年報委員長から、依頼論文と公募論文にアンバランスがあったが、本年12月刊行予定の1995年度年報の原稿は、すべて提出されたことが報告された。

1996年度

佐々木1996年度年報委員長から、特集1の「55年体制の崩壊」については公募への応募者がゼロであるので委員会で論文を用意すること、特集2の「民主政論の新展開」については現在9件の応募者があることが報告された。

1997年度

五百旗頭1997年度年報委員長から、年報委員会のメンバーが以下の通り報告され、了承された。また、特集1を「危機の日本外交—1970年代国際変動への対応」、特集2を「制度の政治学」とすることが報告され、了承された。

五十嵐 武士 (東京大学)

久米 郁男 (神戸大学)

田中 明彦 (東京大学)

中西 寛 (京都大学)

福永 文夫 (姫路獨協大学)

#### (3) 文献委員会

1995年度

天川1995年度文献委員長から、1995年度年報の発行と歩調をあわせて順調に進行中であること、従来は文献紹介が22ページであったのが本年度は24ページになること、増ページにあたって不都合は全くないことが報告された。

1996年度

渡辺1996年度文献委員長から、委員会メンバーが以下の通り報告され、了承された。

飯田 文雄 (神戸大学)

出岡 直也 (東北大学)

伊東 孝之 (早稲田大学)

荻部 直 (東京大学)

酒井 哲哉 (東京大学)  
城山 英明 (東京大学)  
高橋 直樹 (東京大学)  
田中 俊郎 (慶応義塾大学)  
村嶋 英治 (成蹊大学)  
森 政稔 (東京大学)

#### (4) 国際交流委員会

北岡国際交流委員長から、前回理事会で報告した ECPR との研究交流の結果、大嶽秀夫、蒲島郁夫、五百旗頭真の3会員がそれぞれ研究班を構成し、共同研究を開始することになったこと、この研究交流にあたって資金的に問題はないことが報告された。また今年の APSA 年次大会へは委員長代理として田中愛治委員 (青山学院大学) が出席して APSA との交渉を行ったこと、千葉真 (国際基督教大学)、新川敏光 (北海道大学) の両会員が派遣され報告を行ったこと、本年度の日本政治学会研究会にアメリカからは Kathleen Thelen 教授を招いていること、APSA からかねて提案のあったアジア・ネット構想は、APSA 側の資金計画不調のため、当面は見送ること同委員長から報告された。

#### (5) 非欧米圏の政治学会との交流に関する委員会

渡辺委員長から、委員会の中間報告として、(一) アジアとの交流を、学会間の正式な関係に基づくものとして行うのは、適当ではないかもしれない、(二) 非欧米圏との交流を進めるとすれば、本学会の年次研究会の分科会 (ないし共通論題) のテーマに適合する研究者を個別に選考し、直接招待するという方式が考えられる、(三) その場合には本学会内にそのための委員会を設ける等の措置が必要となるだろう、などの点が報告された。この報告については、理事長から、次回の理事会で検討することが提案され、了承された。

#### (6) 選挙管理委員会

森脇委員長から、7月に実施された理事選挙について、選挙が順調に行われたこと、次期理事選出規定に定める30票以上の票を獲得した上位20名の会員は、1名の辞退者を除いて全員が承諾したこと、理事選挙に投票したのは1,277人の会員総数のうち400人であり、投票率は31.3パーセントであったことが報告された。

#### 4. 新監事選任の件

理事長から、本年10月で任期を終える宮村治雄監事に代わって新監事として石田徹会員 (龍谷大学) をお願いしたい旨の提案があり、了承された。

#### 5. 新入会員承認の件

以下の32名の入会が承認された。

権左武志、岡田 彰、佐々木孝夫、李 鍾国、荻部 直、内山 融、野田昌吾、鬼塚尚子、森正、本田雅俊、田村充代、小林慶太郎、村井洋、金森俊樹、宗前清貞、磯崎育男、宋 安鍾、河 世憲、待鳥聡史、北村 亘、澤田眞治、大中真、福原亨一、廣澤孝之、浅見政江、宮脇 昇、進藤 兵、内田美穂、鹿野 晋、河村和徳、金泳坤、文 延翼

#### 6. 事務局報告

常務理事から、会員名簿の作成が順調に進行しており、本年12月に会員に発送する予定であること、12月発行予定の会報作成作業も進行しており、委員会からの報告・連絡の掲載を希望される委員会については、早めに原稿をいただきたいこと、前回理事会での承認に基づき、佐々木理事の IPSA 執行委員会派遣費用として23万5千円を、選挙管理費の追加分として2万円を、それぞれ予備費から支出した旨の報告があった。

#### 7. 1999年度総会・研究会について

理事長から、この年度は東京で開催されることになること、開催校の候補を検討する段階になっていることが述べられた。

#### 8. IPSA 分担金の件

佐々木 IPSA 執行委員会委員から、日本政治学会の分担金 (現在年間1,730ドル) を引き上げるべきだとの意見が IPSA 内部にあることが報告された。

#### 9. 次回理事会の日程に関する件

次回理事会を10月8日 (日) 午後12時から法政大学80年館7階会議室で開催することが決定された。

## 1995年度 総会記録

10/7(土)、理事会に引き続き、午後1時より、1995年総会が開催された。議事次第は以下のとおりである。

1. 開催挨拶 法政大学 鈴木理事
2. 開催校挨拶 法政大学 堀内捷三法学部長
3. 理事長挨拶 村松理事長
4. 各委員会報告  
企画委員会 (1995年度) 加茂委員長  
(1995年度) 蒲島委員長  
年報委員会 (1995年度) 西尾委員長  
(1996年度) 佐々木委員長  
(1997年度) 五百旗頭委員長  
文献委員会 (1995年度) 天川委員長  
(1996年度) 渡辺委員長

国際交流委員会 北岡委員長  
非欧米圏の政治学会との交流に関する委員会 渡辺委員長

5. 1994年度決算・監査の件 的場常務理事  
宮村監事
6. 1995年度予算の件 的場常務理事
7. 次期理事選任の件 村松理事長
8. 閉会挨拶 鈴木理事

総会で承認された、次期理事 (1996. 10-1998. 10) の氏名は、次のとおりである。

(☆印は、公選理事候補者)

- ☆五百旗頭 真 (神戸大学)
- 市川 太一 (広島修道大学)
- ☆猪口 孝 (東京大学)
- 梅津 實 (同志社大学)
- 江上 能義 (琉球大学)

- ☆大嶽 秀夫 (京都大学)
- 大西 仁 (東北大学)
- 加藤 節 (成蹊大学)
- ☆加藤秀治郎 (京都産業大学)
- 蒲島 郁夫 (筑波大学)
- ☆上條 末夫 (駒沢大学)
- ☆加茂 利男 (大阪市立大学)
- ☆北岡 伸一 (立教大学)
- 北住 炯一 (名古屋大学)
- 神江 伸介 (香川大学)
- ☆小林 良彰 (慶応義塾大学)
- ☆佐々木 毅 (東京大学)
- ☆佐々木 信夫 (中央大学)
- ☆田中 靖政 (学習院大学)
- ☆寺崎 修 (駒沢大学)
- ☆富田 信男 (明治大学)
- ☆中村 勝範 (慶応義塾大学)
- ☆西尾 勝 (東京大学)
- 野地 孝一 (信州大学)
- ☆藤井 徳行 (兵庫教育大学)
- 藤本 一美 (明海大学)
- ☆藤原 孝 (日本大学)
- ☆堀江 湛 (慶応義塾大学)
- ☆本田 弘 (日本大学)
- 的場 敏博 (京都大学)
- 水崎 節文 (椋山女学園大学)
- 村川 一郎 (北陸大学)
- 藪野 祐三 (九州大学)
- 山口 二郎 (北海道大学)
- 渡辺 浩 (東京大学)

## 1995年度第3回理事会記録

日時 1995年10月8日(日)午後12時から12時30分  
まで

場所 法政大学80年館7階会議室

1995年度第3回理事会では、理事長挨拶の後、以下の事項が報告・承認された。

1. 各委員会報告

企画委員会

加茂1995年度企画委員長から、本年度研究会の国際交流セッションのペーパーが会場入口で頒布されること等が報告された。

2. 新入会員承認の件

以下の7名の入会が承認された。

蘇 淳昌、佐道明広、衛藤幹子、金丸輝男、鷺江

義勝、孫 熙斗、松本正生

### 3. IPSA 世界大会の件

佐々木 IPSA 執行委員会委員より、2000年世界大会の開催地の審議状況について報告があった。

### 4. 次回以降の理事会の日程の件

次回理事会を12月2日(土)京大会館(京都)で開催することが決定された。また次々回の理事会を明年3月30日(土)京都で開催するとの予定が承認された。

## 理事選挙結果報告

本年6月に行われた第10回理事選挙の結果について、7月19日、森脇選挙管理委員長より村松理事長宛に、下記のとおり報告された。

記	
有権者総数	1,277
投票総数	400
投票率	31.3%

有効投票数	396
無効投票数	4
(投票手続き違反)	4)
30票以上の得票者数	26
当選者の最高得票数	104
当選者の最低得票数	38

公選理事氏名(当選者から辞退者を除いたもの)は、6頁の総会記録を参照。

## 臨時総会記録

10月8日(日)、午後1時30分より、1995年度臨時総会が開催された。議事次第は以下のとおりである。

- |              |      |        |
|--------------|------|--------|
| 1. 開催挨拶      | 法政大学 | 鈴木理事   |
| 2. 次期理事長選任の件 |      | 村松理事長  |
| 3. 事務局報告     |      | 的場常務理事 |
| 4. 閉会挨拶      |      | 鈴木理事   |

次期理事長選出について、村松理事長より次のような報告がなされ、承認された。

次期理事会において、理事長選出規定(1992年3月21日制定)の定める理事長候補者推薦委員会の議論を踏まえて審議の結果、佐々木毅会員が、次期理事長に選出された。

## 1995年度総会・研究会開催される

1995年度の総会・研究会は、10月7日(土)、8日(日)の両日、法政大学において開催された。アメリカ政治学会からは、Professor Kathleen Thelen (Northwestern University)、また ECPR からは Professor Johan P. Olsen (University of Oslo) と Professor Stephen Wilks (University of Exeter) が参加した。3教授は、特別に組織され

た分科会Jにおいて、それぞれ次の報告を行った。Professor Kathleen Thelen, "Corporatism Reconsidered"; Professor Johan P. Olsen, "European Integration and the Role of Nation State"; Professor Stephen Wilks, "Industrial Policy in Comparative Perspective" いずれの報告に対しても活発な質疑が行われ、交流の実があげられた。

# 学 会 ニ ュ ー ス

## 日本政治学会 1995年度予算

### 〈一般会計〉

費 目	予算額
収入	
1. 前年度繰越	9,433,237
2. 会費収入	9,004,250
3. 雑収入	40,000
収入合計	18,477,487
支出	
1. 研究会開催費	1,020,000
A. 研究会準備金	970,000
B. 報告者礼金	50,000
2. 委員会経費	815,000
A. 年報委員会	210,000
B. 企画委員会	210,000
C. 文献委員会	190,000
D. 国際交流委員会	170,000
E. 選挙管理委員会	35,000
3. 理事会経費	100,000
4. IPSA 学会分担金	200,000
5. 事務局経費	1,090,000
A. 理事長通信費	100,000
B. 運営費	60,000
C. 人件費	600,000
D. 経常費	330,000
6. 名簿作成積立金	450,000
7. 国際交流基金へ積立	200,000
8. 国際交流基金へ繰出	5,000,000
9. 選挙管理費	400,000
10. 会報発行費	480,000
11. 年報会計へ繰出	4,800,000
12. 予備費	3,922,487
支出合計	18,477,487
差引残高	0

### 〈別会計〉

#### 名簿作成積立金

収入	1,255,413
前年度繰越	804,413
本年度積立金	450,000
利息	1,000
支出	1,255,413
名簿作成費用	1,200,000
予備費	55,413

#### 年報会計

収入	7,736,151
前年度繰越	2,906,151
一般会計から	4,800,000
利息	30,000
支出	7,736,151
年報費用	4,978,160
予備費	2,757,991

#### 国際交流基金

収入	21,500,368
前年度繰越	15,800,368
本年度積立金	200,000
一般会計から繰入	5,000,000
利息	500,000
支出	21,500,368
執行計画	500,000
予備費	21,000,368

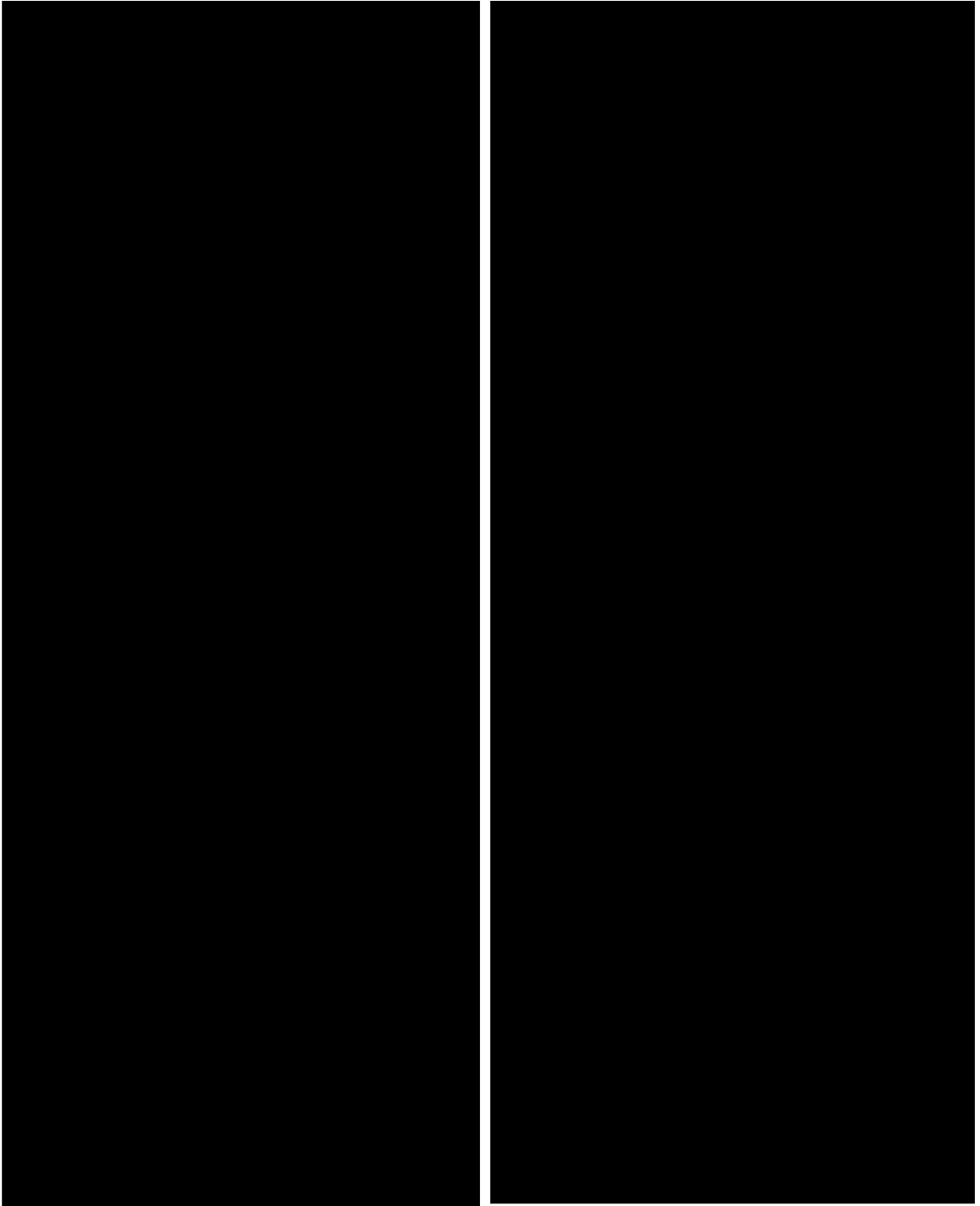


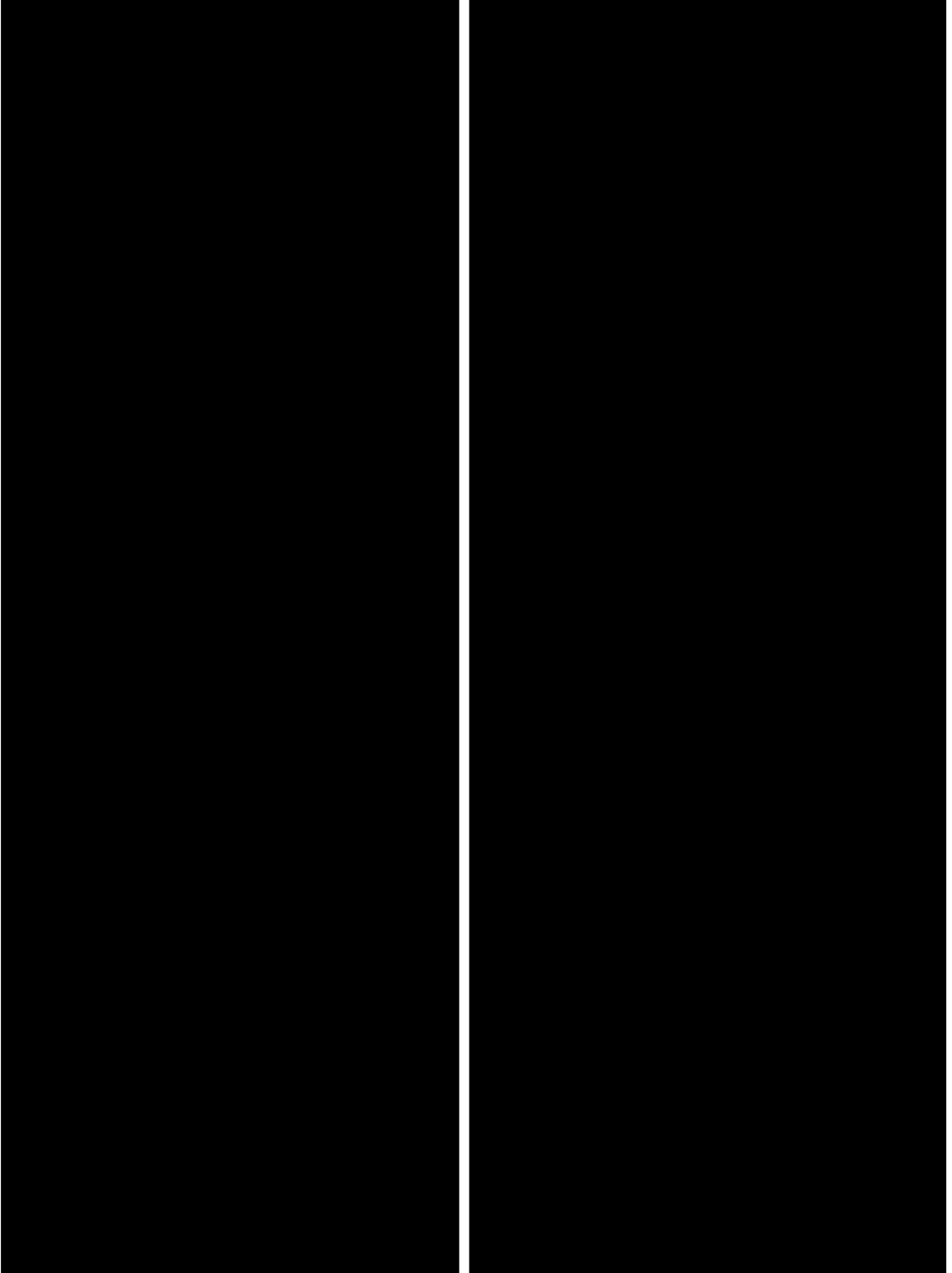
---

学 会 ニ ュ ー ス

---

会員の異動 (1995. 8. 23~1995. 11. 6)

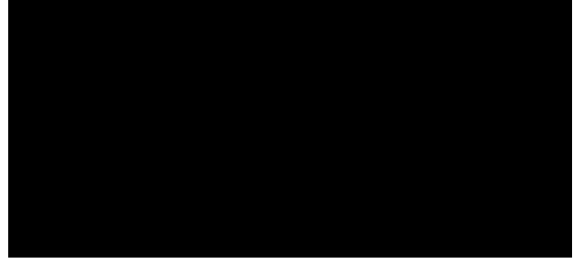




---

学 会 ニ ュ ー ス

---



## 事 務 局 よ り

### 会費納入についてのお願い

会費未納の会員には、振込用紙を同封しております。未納額は、振込用紙に記入された通りです。同用紙にて会費をお支払い下さいますようお願いいたします。2年度分以上会費を滞納されますと、1996年3月末日をもって、会員資格を失うこととなります。

94年度会費が未納の会員に対しては、94年度会費納入を確認した時点で、事務局から94年度年報政治学をお送りしています。また、95年度年報政治学は、95年12月半ばに94年度会費の納入が確認された会員に対してのみ、12月下旬に岩波書店から送付される予定です。それ以降に会費を納入された方には、会費の納入が確認された時点で、事務局より年報を発送します。

未納額について御不審の点がございましたら、事務局までお問合せ下さい。また、会費を納入したにもかかわらず当該年度の年報が届いていない方がおありでしたら、事務局までお知らせ下さい。

### IPSA 事務局より個人会員入会案内

IPSA 事務局では、個人会員の入会を促進するため、3年度会費制（135ドル/単年度は50ドル）を設けました。詳細については以下までお問い合わせ下さい。

IPSA Secretariat  
Dept. of Politics  
University College, Dublin  
Belfield, Dublin 4, Ireland  
tel+353-1-7068182  
Fax+353-1-7068696  
email IPSA@UCD. IE

### 計 報

下記の方々をご逝去になりました。謹んで哀悼の意を表します。

福井英雄氏（立命館大学教授）

1995年7月4日 1932年生

政治過程論・現代日本政治専攻。理事 1978-80, 82-88

福島徳寿郎氏（奈良産業大学教授）

1995年6月3日 1923年生

政治制度論専攻。理事 1966-72

### 本号の目次

### ページ

- |                            |       |
|----------------------------|-------|
| 1. 「世界政治学の潮流について」<br>..... | 猪口孝 1 |
| 2. 年報論文公募について .....        | 2     |
| 3. 理事会・総会記録等 .....         | 2     |
| 4. 1995年度予算 .....          | 8     |
| 5. 会員の異動 .....             | 9     |
| 6. 事務局より .....             | 12    |

1995年12月6日

発行 日本政治学会事務局

的 場 敏 博

〒606-01 京都市左京区吉田本町

京都大学法学部 的場研究室

TEL (075) 753-3262

FAX (075) 753-3290

郵便振替番号 00100-8-84250

加入者名 日本政治学会

印刷 昭和堂印刷所